

パック・エックスが リクルートジョブズと業務提携

アルバイト採用支援事業スタート、適正プランニングで採用単価の低減にも

このほど、(株)リクルートジョブズとの業務提携を発表した(株)パック・エックス。
ホール向けのアルバイト採用支援事業を2020年8月より開始した。



営業本部・中村祐希部長

「タウンワーク」 取り扱い開始

パック・エックスでは、ホールスタッフに特化したアルバイト求人媒体『パチンコバイト』を運営しているが、一方のリクルートジョブズでは、日本最大級のアルバイト求人媒体『タウンワーク』の運営で知られる。今回の業務提携により、パック・エックスでは「タウンワーク」など、リクルートジョブズが有する求人媒体の正式な代理店となった。

かなり異例のことだ。実際、同社が正式代理店としてパートナー企業を迎えることは10数年振りのことだという。

それほど今回の業務提携には、リクルートジョブズ側にもメリットが高いと判断できる材料があった。現在、アルバイト求人媒体の業界シェアにおける50%弱をタウンワークが有しているが、パック・エックスとパートナーシップを結ぶことで、さらにシェアを高めることに期待できる。

何故ならパック・エックスがホール業界の採用支援事業において最も強い存在だからだ。

同社が「タウンワーク」を取り扱うことで、ホール企業からの出稿率の拡大が見込めるといふわけだ。

一方、パック・エックス側としても「パチンコバイト」に加えて「タウンワーク」などの求人媒体を扱えることで、ホール企業に対し、これまで以上に適正な採用プランニングの企画および提案が実現する。安価で業界志望度の高い人材を集めることができる「パチンコバイト」に加え、スポットで人材を多く

集めることに長けている「タウンワーク」を取り扱うことで、年間を通してこれまで以上にホール企業側の事情に合わせた提案が可能だ。

同社は今回の業務提携を機に、アルバイト採用支援事業を開始する。

アルバイトの雇用に当たって、多くのホール企業は「質量両面において満足できる採用が難しい」「採用単価が高い」といった問題がある。

業界特化で新卒、中途の採用支援を長年続けてきたノウハウを活かし、デザインおよびキヤッチコピーなど求職者に「刺さる」求人広告の制作と、アルバイト応募者に対する迅速な1次対応（応募の連絡・面接の日程調整）の代行などを行う。

パック・エックスの営業本部・中村祐希部長は「タウンワークの取り扱いが可能になったことで、弊社が培ってきた採用ノウハウのもと、総合的なアルバイト採用支援が可能となりました。中長期的に安定した採用支援を行うことで、ホール企業様の採用コストの低減にも寄与できると考えています」（中村氏）。

▼採用業務フローの変化

